

## 言語に見られる民族文化性

D・O・朝克<sup>※</sup>

### 1. 研究目的

民族にはそれぞれ特徴があり、その特徴は民族の生活全体の中に具体的に現れ、また、人間の日常生活と切り離しがたいところの言語の中にそのまま生きている。ある民族の言語を研究すると、われわれは、その言語の音韻、文法、基本語彙などにおける特徴だけでなく、表現形式における特徴にも気づく。この表現形式における特徴は、それぞれの民族にとって大きな役割を演じている。

それぞれの民族が基盤としている生活条件や生活様式は様々である。人は、自分たちの一番熟知している生活条件と生活様式に基づいて言語活動を行う。また、自分の熟知する対象の性質や特徴を利用することによって、なんらかの深い意味を、最も簡潔、明快、適格に表現することができる。民族的特徴をよく保存している地域の民族の言語には、このようなその民族に特徴的な表現形式の体系が非常によく発達しているのが観察される。

たとえば、漢民族は農業を基盤として生活している民族である。農業の機械化がまだ十分に進んでいない中国の広大な農村では、日常の農作業のほかに、驢馬、豚、鶏、鶯鳥などの家畜の飼育が農民の日常生活の重要な部分を占めている。漢民族の農民は、これらの家畜の生活や形状を何よりもはっきりと認識し、この認識に基づいて、人間や家畜や野生動物の特徴をふまえた言語表現を発達させている。実際、漢民族の日常的な言語表現には、「豚のように太った人」、「豚のように汚い人」、「豚のようにグググウいびきをかく人」、「豚のように臭い人」、「豚のように無精な人」、「豚のように馬鹿な人」、「豚のように眠る人」、「豚のように目が小さい人」、「豚のように何でも食べる人」、「驢馬のようにむやみに叫ぶ人」、「驢馬のように走る人」、「驢馬のように無茶な人」、「驢馬のように人を蹴る人」、「驢馬のように意地っぱりな人」、「鶏のようにうるさい人」、「鶏のようにでたらめに走る人」、「鶏のように際限なく叫ぶ人」、「鶯鳥のように歩く人」、「鶯鳥のように騒ぐ人」、「鶯鳥のように不器用な人」など、豚、驢馬、鶏、鶯鳥に基づく比喩的表現が非常に多い。

中国北部に居住するツングース人には、狩猟のみを生業としている狩猟民と、狩猟と並んで牧畜にも従事している牧畜民とがいる。牧畜民のツングース人の場合でも、牧畜に関わった歴史はそれほど古くなく、たかだか300年程度に過ぎないうえ、現在でも狩猟から完全に離れたとはい

※中国社会科学院民族研究所助理研究員

いがたい。つまり、ツングース人は、伝統的な狩猟経済から牧畜への完全な移行をまだ行っていないのである。彼らは、今日までずっと、熊、鹿、ノロ、大鹿、猪などの野生動物を経済生活の基盤として暮らしてきたわけだ。このため、彼らの言語には、これらの野生動物に関連する表現や成句が非常に発達している。たとえば、「祖先」「御祖父様」の意味の etergeng は、本来「熊」を指す語であり、ツングース人の一部族の名称 oro:ngqong（鄂倫春）の oro:ng は、本来「鹿」を指す語である。また、80歳に近いツングース人の老人には、etergeng「熊」、oro:ng「鹿」、torohi「猪」、to:ni「大鹿」、jegreng「ノロ」、gi:seng「ノロ」、to:li「兎」などの名前を持つ人が多くみられる。同様の名前は、若い人々の間でも決して珍しくない。ツングース人の日常語には、また、これらの野生動物の動作、性格、形状などに基づいて、人間や家畜、野生動物の特徴を比喩的に表現する言い方が極めて多い。この種の表現には、たとえば、次のようなものがある。

jegreng nege:ng tüggüng üttüliireng

ノロの ように 早く 走る 「最も早く走る」

oro:ng nege:ng numuhi

鹿の ように おとなしい 「鹿のようにおとなしい」

oro:ng nege:ng teqqi

鹿の ように 忠実だ 「鹿のように忠実だ」

to:hi nege:ng goddo

大鹿の ように 高い 「背が高い」

to:hi nege:ng jielixi

大鹿の ように 狡猾だ 「大変狡猾だ」

gi:seng nege:ng segge

ノロの ように 鋭い 「非常に鋭い」

torohi nege:ng de:pü

猪の ように 危険だ 「本当に危険だ」

torohi nege:ng ne:lmüddi

猪の ように のろま 「本当にのろまだ」

eteggeng nege:ng honnoring

熊の ように 黒い 「真っ黒だ」

eteggeng nege:ng i:salxi

熊の ような 目 「非常に小さい目」

eteggeng nege:ng aggaxirang

熊の ように 歩く 「のろのろと歩く」

## 2

牧畜民族であるモンゴル人の毎日の労働や生活と密接な関係をもつのは、牛、馬、羊、山羊、

駱駝の5種類の家畜である。モンゴル人は、この5種類の家畜の性格、形状、動作を知悉しており、日常生活では、これらの家畜の特徴に関する知識をごく自然に活用して、自分の意図をきわめて適格に表現している。本論文は、モンゴル語独特の比喩的表現に現れている民族文化性を論じるものである。

## 2. 1 牛に関する比喩的表現

牛の性格、形状、動作に基づくモンゴル語の比喩的表現には次のようなものがある。

### ①牛の性格に基づく比喩的表現

- üher jorigü: 牛 意地っぱり 「本当に意地っぱりだ」  
üher nomohan 牛 おとなしい 「非常におとなしい」  
üher teneg 牛 ばか 「本当にばか」  
üher jangtai 牛 性格を持つ 「一本気だ」  
üher agurtai 牛 癖を持つ 「頑固だ」  
üher dagutai 牛 かんしゃく 「かんしゃくもち」

### ②牛の形状に基づく比喩的表現

- üher бүдүгүн 牛 大きい 「とても大きい」  
üher beyetei 牛 体を持つ 「体が大きい」  
üher nidütei 牛 目を持つ 「目が大きくて丸い」  
üher nodogodo 牛 胃袋 「よく食べる人」  
buhan бүжүгүtei 種牛の 首を持つ 「首が太い」  
üniyen delengtei 乳牛の 乳房を持つ 「乳房がむやみに大きい」  
tugul ulagan 小牛 赤い 「真っ赤だ」  
buha qagan 種牛 白い 「真っ白だ」

### ③牛の動作に基づく比喩的表現

- üher jithühü 牛 引く 「よく頑張る」  
üher göliihü 牛 睨み付ける 「非常に怒る」  
tugul xig toglahu 小牛 ように 遊ぶ 「活発に跳ね回る」  
tugul xig idehü 小牛 ように 食べる 「よく食べる」  
buha xig mörgöldöhü 種牛 ように 角で突く 「激しく喧嘩する」  
üher xig uuguhu 牛 ように 飲む 「よく飲む」「飲兵衛だ」

## 2. 2 馬に関する比喩的表現

馬の性格、形状、動作に基づくモンゴル語の比喩的表現には次のようなものがある。

### ①馬の性格に基づく比喩的表現

ajirgan agsum 種馬 怒りっぼい 「非常に怒りっぼい」  
emnig galiagu 野生馬 横柄だ 「とても横柄だ」  
emnig xig dogxin 野生馬 ように 荒々しい 「非常に荒々しい」  
ajirgan galjagu 種馬 粗野だ 「粗野すぎる」  
agta xig xidurgu 駿馬 ように 忠実だ 「非常に忠実だ」  
gegü:xig eneringgüi 母馬 ように 優しい 「本当に優しい」

### ②馬の形状に基づく比喩的表現

morin höltei 馬の 足を持つ 「足が速い」  
morin qihitei 馬の 耳を持つ 「耳がいい」  
morin midütei 馬の 目を持つ 「目が細長い」  
agta in beyetei 駿馬の 体を持つ 「体つきがいい」  
morin qiraitai 馬の 顔を持つ 「顔が長い」「馬面である」

### ③馬の動作に基づく比喩的表現

mori xig dobdolhu 馬 ように 走る 「早く走る」「一生懸命に走る」  
mori xig haraihu 馬 ように 跳ねる 「遠くまで跳ねる」  
mori xig jirogalahu 馬 ように 大股で歩く 「よく働く」  
morin jogsoga bar untahu 馬の 立って 眠る 「過度に疲れる」  
morin següresü aldahu 馬の ため息 はく 「長嘆する」「本当に心配する」  
mori xig ürgühü 馬 ように 驚く 「驚きすぎる」

## 2. 3 羊に関する比喩的表現

羊の性格、形状、動作に基づくモンゴル語の比喩的表現には次のようなものがある。

### ①羊の性格に基づく比喩的表現

honi xig nomohan 羊 ように おとなしい 「おとなしすぎる」  
honin arinuhan 羊の 単純だ 「最も単純だ」  
honi xig amarhan 羊 ように 平凡だ 「平凡すぎる」  
honin bögerei 羊の 弱々しい 「非常に弱々しい」  
honin ayumahai 羊の 臆病だ 「本当に臆病だ」

honin jirühetei 羊の 度胸を持つ 「気が小さい」

②羊の形状に基づく比喩的表現

honin nidutei 羊の 目を持つ 「おとなしい目をしている」

honin hóltei 羊の 足を持つ 「足が細くて小さい」

honin qagan 羊の 白い 「真っ白だ」(自然現象を表す)

hnraga xig montogor 小羊 ように 丸い 「丸々とした」

hnraga xig jigahan 小羊 ように 小さい 「非常に小さい」

③羊の動作に基づく比喩的表現

honin jiroga 羊の 小股で早足に歩く 「急走する」

honi xig jöndöhü 羊 ように ぼんやりする 「ぼんやりする」

honi xig crgigütühü 羊 ように 鈍る 「頭が鈍る」

huraga xig bömbögenehü 小羊 ように みだりに走る 「よく走る」

huraga xig höhöhü 小羊 ように 乳を飲む 「腕白に乳を飲む」

honin xig gidal ügei 羊 ように 能力 なし 「軟弱で悔りうる」

## 2. 4 山羊に関する比喩的表現

山羊の性格、形状、動作に基づくモンゴル語の比喩的表現には次のようなものがある。

①山羊の性格に基づく比喩的表現

imaga xig darbanag 山羊 ように 軽率だ 「でしゃばる」

imaga xig jibegütei 山羊 ように 嫌だ 「本当に嫌だ」

imagan mailanghai 山羊の メーメーなく 「叫ぶのが好きだ」

ixig xig sergeg 小山羊 ように 鋭い 「極めて鋭い」

ixig xig qobogo 小山羊 ように 活発だ 「天真爛漫で活発だ」

imaga xig gabxigai 山羊 ように すばやい 「とてもすばやい」

②山羊の形状に基づく比喩的表現

imagan sahaltai 山羊の 髭を持つ 「山羊髭」

ixig xig hönggen 小山羊 のように 軽い 「非常に軽い」

imagan qiraitai 山羊の 顔を持つ 「瓜実顔だ」

imagan eber xig üjügürtei 山羊の角 ような 尖った先をもつ 「先が鋭く尖っている」

ixig xig beyetei 小山羊 ような 体を持つ 「体が非常に小さい」

③山羊の動作に基づく比喩的表現

imaga xig tüibegehü 山羊 ように 邪魔だてする 「本当に邪魔だてする」  
 imaga xig samagultahu 山羊 ように いたずらをする 「いたずらすぎる」  
 imaga xig maquhu 山羊 ように 登る 「でたらめに登る」  
 imaga xig derbehü 山羊 ように 盲滅法に走る 「非常に興奮する」  
 ixig xig mörgöldöhü 小山羊 ように 角突き合わせる 「いたずらに騒ぎたてる」  
 ixig xig toglahu 小山羊 ように 遊ぶ 「戯れすぎる」

## 2. 5 駱駝に関する比喩的表現

駱駝の性格、形状、動作に基づくモンゴル語の比喩的表現には次のようなものがある。

### ① 駱駝の性格に基づく比喩的表現

temegen nomohan 駱駝の おとなしい 「非常に温順だ」  
 temegen jönög 駱駝の 愚鈍だ 「愚鈍すぎる」  
 temegen agajigu 駱駝の 緩慢だ 「緩慢すぎる」  
 temege xig labdagun 駱駝 ように 穏健だ 「とても穏健だ」  
 temege xig agujigu 駱駝 ように 寛容だ 「寛容すぎる」  
 temege xig hüliqenggüi 駱駝 ように 我慢する 「我慢強い」

### ② 駱駝の形状に基づく比喩的表現

temegen nirugutai 駱駝の 背を持つ 「僵儻の」  
 temegen tuguraitai 駱駝の 蹄を持つ 「足が大きい」  
 temegen hamartai 駱駝の 鼻を持つ 「鼻が大きくて長い」  
 temegen qihitei 駱駝の 耳を持つ 「耳が小さい」  
 temegen segül xig ohor 駱駝の 尾 ように 短い 「非常に短い」  
 temegen beyetei 駱駝の 体を持つ 「背が高い」

### ③ 駱駝の動作に基づく比喩的表現

temege jirogalahu 駱駝 急走する 「大股で速く歩く」  
 temege xig güyühü 駱駝 ように 走る 「大股でゆっくり走る」  
 temege xig sögödhü 駱駝 ように 這う 「ちゃんと這う」  
 temege xig tesbürilehü 駱駝 ように 頑張る 「よく頑張る」  
 temege xig harahu 駱駝 ように 見る 「遠くを眺める」

以上は、モンゴル人の中で一般的な5種類の家畜、牛、馬、羊、山羊、駱駝の名称が、形容詞的、副詞的な慣用句や複合語に用いられている例である。

モンゴル語には、この5種類の家畜の性格、形状、動作に基づいて比喩的に命名された植物の名称が多数認められ、日常生活において頻繁に使用される。

### 3. 1 羊の特徴に基づいた植物名

honin luila 羊 苜蓿 「臭いウマゴヤシ (苜蓿)」

honin jangu: 羊 卷耳 「ミミナグサ (卷耳)」

huragan bögere 小羊 腎臓 「カヤ (榧) の実」

huragan qihi 小羊 耳 「柳葉草」

huragan jasaga 小羊 睾丸 「カラシナ (芥子)」

huragan luili 小羊 苜蓿 「丸葉の草」

羊の性格、形状、動作に基づいて命名された植物は、おおむね、小さな草である。

### 3. 2 牛の特徴に基づいた植物名

üher xilüsü 牛 唾 「山の大根」

üher xilühei 牛 糯粟 「種蓬」

üher sundu 牛 刺 「サイカチ (マメ科の落葉樹)」

üher oriyangu 牛 蔓 「山芋 (穿山龍)」

üher büljigene 牛 德利苺 「德利苺」

üher ürgene 牛 車前 「オオバコ (車前)」

牛の性格、形状、動作に基づいて命名された植物は、太くて大きい草が圧倒的に多い。

### 3. 3 駱駝の特徴に基づいた植物名

temegen tuiladasu 駱駝の 霜 「雪子」

temegen burqag 駱駝の 豆 「ソラマメ (蚕豆)」

temegen hele 駱駝の 舌 「駝舌草」

temegen hargana 駱駝の マンズの木 「多刺マンズの木」

temegen höhö 駱駝の 乳房 「地梢瓜」

temegen halagai 駱駝の 麻 「狭葉蕁麻」

temegen lu:li 駱駝の 霜 「葉が大きいアカザ (藜)」

駱駝の性格、形状、動作に基づいて命名された植物は、長く大きい草や木が比較的多い。また、茎や幹は長くてやや細いが、実と葉は大きい草や木を指すことが多い。

### 3. 4 馬の特徴に基づいた植物名

morin jegergene 馬の 麻黄 「木賊麻黄」

gegü: in höhö 母馬の 乳房 「黄金柳」

unagan xigir 小馬の 「薄葉細辛」

unagan türügü: 小馬の 頭 「ウキクサ (浮草)」

馬の性格、形状、動作に基づいて命名された植物は、茎や幹が長く、葉が薄い草や木が比較的多い。

### 3. 4 山羊の特徴に基づいた植物名

imagan jegergene 山羊の 麻黄 「単子麻黄」

imagan burgasu 山羊の 柳 「南部の柳」「垂れ柳」

山羊の性格、形状、動作に基づいて命名された植物は、たいてい、茎や幹が細長い草や木である。

\* \* \*

このほか、近縁の植物間の微妙な差異をこの5種類の家畜の特徴を用いて表し分けた場合がある。

#### ①arqa「柏」のいろいろ

üher arqa 牛 柏 「柏楨」

honin arqa 羊 柏 「新疆柏楨」

imagan arqa 山羊 柏 「フォー柏楨」

#### ②xiralji「蓬」のいろいろ

honin xiralji 羊 蓬 「時蘿蓬」

imagan xiralji 山羊 蓬 「臭い蓬」

huragan xiralji 小羊 蓬 「転蓬」

morin xiralji 馬 蓬 「黄色い蓬」

#### ③ebesü「草(一般的)」のいろいろ

buha ebesü 種牛 草 「老鶴草」

tugal ebesü 小牛 草 「クララ」

imagan xigira ebesü 山羊 蹄 草 「洪草」「羊蹄」

また、別種の植物の間に認められる共通点を、異なった家畜の特定部位の名称を用いることによって表している場合がある。

#### ①共通点を segül「尾」で表す

temegen segül 駱駝の 尾 「浜靱」(ハマユギ?)



buhan segül 種牛の尾 「蝦夷菊」「藍菊」

unagan segül 小馬の尾 「系姫萩」「遠志」

②共通点を nidu 「目」で表す

üher nidu 牛目 「茶薦」

honin nidu 羊目 「野菊」

この5種類の家畜の名称の中で、植物の命名にもっともよく用いられているのは、羊と牛であるが、馬に基づいた植物名も少なくない。一方、山羊と駱駝に基づいて命名された植物は比較的少ない。

#### 4

モンゴル語には、この5種類の家畜の、性格、形状、動作に基づいて比喩的に命名された動物や昆虫の名称も多数認められる。

#### 4. 1 牛の特徴に基づく動物名・昆虫名

üher jigasu 牛魚 「ウミウシ(海牛)」

üher xibaga 牛籤 「カムルチイ(黒魚)」

üher segül 牛尾 「鯛」

üher haligu 牛獺 「大きな川のカワウソ(獺)」(江獺)

üher ogdoi 牛倉鼠 「ネズミの一種」

buha jaraga 種牛針鼠 「大きい雌針鼠」

buha xibagu 種牛鳥 「葦の鶯」

üher gür ljegene 牛蟋蟀 「コオロギ(蟋蟀)の一種」

üher qoho 牛甲虫 「屎虫(コガネムシ?)」

牛の性格、形状、動作に基づいて命名された動物や昆虫は、皆太くて不器用なものばかりである。

#### 4. 2 馬の特徴に基づく動物名・昆虫名

morin lagusa 馬ラバ 「ラバ」

morin jögei 馬蜂 「スズメバチ」

morin güreljegene 馬蟋蟀 「エンマコオロギ」

morin xirgulji 馬蟻 「森蟻」

ajirgan qinoa 種馬狼 「雄狼」

馬の性格、形状、動作に基づいて命名された動物や昆虫は、一般に、足と体が長くて細く、走

る速度も非常に早い。

#### 4. 3 駱駝の特徴に基づく動物名・昆虫名

temegen hirgu:l 駱駝 雉 「ダチヨウ」

temegen bugu 駱駝 鹿 「大鹿」

temege-ljene 駱駝 接尾辞 「カマキリ」

駱駝の性格、形状、動作に基づいて命名された動物や昆虫は、ほとんどすべて、背が高く、首が長く、足も細くて長い。

#### 4. 4 羊の特徴に基づく動物名・昆虫名

honin temege 羊 駱駝 「羊駱駝」

honin horohai 羊 虫 「毛ジラミ」

羊の性格、形状、動作に基づいて命名された動物や昆虫は、一般に、体が丸くて軟らかい。

\* \* \*

同類の動物や昆虫の差異を、5種類の家畜の特徴を比喩的に用いることによって表した命名の例も少なくない。

##### ①hariyaqai 「燕」のいろいろ

morin hariyaqai 馬 燕 「雨燕」

huragan hariyaqai 小羊 燕 「小燕」

honin hariyaqai 羊 燕 「川州燕」

##### ②hedegene 「蜂」のいろいろ

morin hedegene 馬 蜂 「牛蜂」

üher hedegene 牛 蜂 「大蜂」

##### ③görögesü 「獣」のいろいろ

buha görögesü 種牛 獣 「野牛」

imagan görögesü 山羊 獣 「青羊」

##### ④melehei 「蛙」のいろいろ

morin melehei 馬 蛙 「アオガエル」

üher melehei 牛 蛙 「牛蛙」

##### ⑤ütege 「熊」のいろいろ

biragu ötege 二歳牛 熊 「二歳熊」

honin ötege 羊 熊 「短足熊」

また、この5種類の家畜の性別や気性などに基づいて、人間の男女、動物の雌雄を区別する言

い方がある。たとえば、「女性」を *imagan* 「山羊」, 「女性たち」を *imagaqud* 「山羊たち」, 「男性」を *buha* 「種牛」または *ajirgan* 「種馬」, 「男性たち」を *buhaqud* 「種牛たち」あるいは *ajirgaqud* 「種馬たち」と呼ぶ言い方があるが、これはいつも貶すときに用いられる。また、「ハシタカ（鷹の一種）」の雄を *honin hirurgi* 「羊のハシタカ」, 雌を *morin hirurgi* 「馬のハシタカ」という。このほか、モンゴル語では、動物の雄を *ajirgan* 「種馬」で表現する場合がある。たとえば、*ajirgan nohai* (種馬犬) 「雄犬」, *ajirgan qinoa* (種馬狼) 「雄狼」, *ajirgan bugu* (種馬鹿) 「雄鹿」, *ajirgan tahiya* (種馬鶏) 「雄鶏」など。

モンゴル語で、動物や昆虫の命名や、それと関連する表現にもっともよく用いられるのは、牛である。馬の特徴に基づく動物名、昆虫名もかなり多く見られるが、牛を用いた名称に比べると比較的少ない。駱駝と羊に基づく命名の例はあまり見られない。説くに、山羊のつく命名の例はきわめて珍しい。これは、山羊をあまり好まないモンゴル人の民族心理と関係があると思われる。たとえば、モンゴル人は山羊の肉を食べると持病が再発すると言ひ、ふつう山羊の肉を食用としない。

## 5

モンゴル人の日常生活で使われている道具、生活用品、自然現象などの命名にも、この5種類の家畜の名前が用いられていることが多い。

### 5. 1 牛の特徴に基づく物の名称

*üher eber* 牛 角 「漏斗」

*üher qilagu* 牛 石 「磐石」

*üher ing* 牛 白 「大白」

*buha terge* 種牛 車 「機関車」

*buhan mangurga* 種牛 ハンマー 「大ハンマー」

*buhan habiqigur* 種牛 鋏 「万力」「バイス」

*tugul tang* 小牛 汁 「牛乳で作ったウドン」

牛の特徴に基づいて命名されている物は、一般に、大きく、重く、固い。また、形はやや丸みを帯びている。他方、小牛の特徴に基づいて命名されている物は、大体が柔らかくて弱い。

### 5. 2 馬の特徴に基づく物の名称

*morin ayaga* 馬 碗 「大きくてやや高い碗」

*morin togoga* 馬 鍋 「大鍋」

morin hugur 馬 琴 「馬頭琴」  
morin tamahi 馬 煙 「阿片」  
ajirgan salhi 種馬 風 「荒れ狂う風」  
ajirgan borogan 種馬 雨 「豪雨」

馬の性格、形状、動作に基づいて命名されている物はさまざまだが、形状がすらりとしていたり、細長い物が多い。種馬に基づいて命名されているのは、迅速で猛烈な自然現象である。

### 5. 3 羊の特徴に基づく物の名称

honin egüle 羊 雲 「白雲」  
honin dung 羊 法螺 「大きくてやや太い法螺」  
huragan qai 小羊 茶 「精製した茶」  
huragan xidü 小羊 齒 「牛馬等が年老いてから再び生えた齒」  
huragan egüle 小羊 雲 「絹雲」

羊の性格、形状、動作に基づいて命名されている物や自然現象は、大部分、小さくて短いか、薄くて美しい物である。

### 5. 4 駱駝の特徴に基づく物の名称

temegen jegü 駱駝の 針 「長くて太い針」  
temegen xiböge 駱駝の 錐 「毛皮を縫うときに使う長くて太い錐」

駱駝の性格、形状、動作に基づいて命名されている物は、ほとんどすべて、かなり長く、やや太い形状のものである。

### 5. 5 山羊の特徴に基づく物の名称

imagan büriye 山羊 ラップ 「ラマの小さいラップ」

\* \* \*

また、同種類の物の間の細かな違いが、5種類の家畜の性格、形状、動作に基づいた比喩的命名によって表されていることがある。

①xil「瓶」のいろいろ

morin xil 馬 瓶 「背が高くやや細目の大きな瓶」  
üher xil 牛 瓶 「背が高く太い大きな瓶」  
buhan xil 種牛 瓶 「背が低く太い大きな瓶」  
huragan xil 小羊 瓶 「小さく美しい瓶」

②būriye 「ラッパ」のいろいろ

imagan būriye 山羊 ラッパ 「ラマの小さいラッパ」

üher būriye 牛 ラッパ 「ラマの大きいラッパ」

③xitarā 「碁」のいろいろ

honin xitarā 羊 碁 「羊碁 (モンゴル人の碁)」

morin xitarā 馬 碁 「チェス」

④pū:鉄砲のいろいろ

üher pu: 牛 鉄砲 「大砲」

morin pu: 馬 鉄砲 「鉄砲」

物や自然現象の命名に最も多く用いられるのは、牛と馬である。羊もよく登場するが、牛や馬に比べると、比較的少ない。駱駝や山羊を用いた名称はあまり多くない。とくに、山羊を用いた物や自然現象の名称は非常に少ない。

6

この5種類の家畜の特徴、あるいは活動場所などに基づいた命名は、また、地名の中にも見られる。

morin dabaga 馬 峠 「莫力達瓦 (Morin Dawa) 旗」(内モンゴル自治区の県の名)

biragu hota 二歳牛 城 「経棚旗」(内モンゴル自治区の hexigten <克什克騰>旗の旧名)

temegen hūjūgtū: 駱駝の 尖った口 「特莫根胡珠」(内モンゴル自治区 ewengki 旗の村名)

7

家畜の名称から派生した動詞も見られる。

mori + -da → morida-

馬 馬に乗る > 「出発する」「出かける」

buha + -da → buhada-

種牛 交尾する > 「理不尽なことをする」

temega + -qile → temegeqile-

駱駝 駱駝が腹這う > 「腹這う」

8

家畜の出てくる熟語には次のようなものがある。

gegū: sagahu bar oqihu

母馬を しぼる へ 行く 「小便する」(女性語)

mori harahu bar oqihu

馬を 見る へ 行く 「小便する」(男性語)

buhan hūjūgū:jigahū

種牛 首を 見せる 「横暴に振る舞う」

9

以上のように、モンゴル語においては、牛、馬、羊、山羊、駱駝の性格、形状、動作、あるいは毛色などに基づいた表現法が非常に発達しており、使用率も高い。このような表現法は、とりわけ、漢文化の影響が少ない純粋な放牧地域のモンゴル語に豊富である。彼らの言語からこの5種類の家畜に関係する語や表現の全部を除去するならば、その言葉は平板で味わいのないものになってしまうばかりか、話し手は、自分の言おうと意図する内容を十分な正確さと明瞭さをもって表現することが不可能となり、もはや自分が本当のモンゴル語を話していると感じることができないに違いない。

私の考えでは、この種の特別な語や表現法があるのは、モンゴル語だけに見られる現象ではない。いかなる言語も、それぞれ、その民族独自の風俗習慣、心理構造、生存条件、生産活動などによって形作られるものである。言語は、その音韻、文法、語彙の構造によって特徴づけられるばかりでなく、その比喩的表現法によっても特徴づけられる。このようなその言語に特徴的な比喩表現に用いられる語は、例外なくその言語の話し手である民族の成員全員が熟知している語であり、日常生活において最も多用されている語である。そして、このような比喩的表現の中に、その民族の風俗習慣、心理構造、生存条件、生産活動などがそのまま反映されているのである。

この論文では、ある言語に特徴的な比喩的表現や使用頻度の非常に高い語が、その言語の話し手である民族の特性を示していると考え、これを言語の民族文化性として考察した。言語に見られるこのような現象の研究とその体系化は、その言語、そのものより明確な理解へと私たちを導くばかりでなく、その言語の話し手の民族に特有の心理構造、風俗習慣、生存するための物質的条件、生産活動などをも理解する一手段となると考える。

(1990.9.23 秋分の日記す)